

第22回 愛知大学FDフォーラム

(テーマ)

- ①「学修成果の可視化ツールに関するモニタ実施結果の紹介」
- ②「学修成果の可視化の意義とカリキュラムデザイン」

学修成果の可視化は本学の教学マネジメント体制確立のためには重要な課題です。2025年度実施を目指す新カリキュラムでテーマにしている「学修者本位の教育の確立」にむけて、本講演を通じて学修成果の可視化とカリキュラムデザインの関係について考えたいと思います。

【日 時】 2022年11月24日（木） 16：00～17：30

【会 場】 オンラインにて実施

【講 演 講 師】

井口 泰秀 氏 愛知大学 経済学部教授・学部長
深堀 聰子 氏 九州大学 教育改革推進本部 教授

【主 催】 愛知大学 学習・教育支援センター委員会

《深堀 聰子氏のプロフィール》

深堀 聰子（ふかほり さとこ） 九州大学 教育改革推進本部 教授

ご専門は、比較教育学、教育社会学 高等教育論。

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程中退、

コロンビア大学大学院教育学研究科博士課程修了。（Ph.D）

東京大学社会科学研究所助手、京都女子大学短期大学部講師・准教授、

国立教育政策研究所高等教育研究部総括研究官、高等教育研究部長を経て、2018年より現職。

著書に、『アウトカムに基づく大学教育の質保証 - チューニングとアセスメントにみる世界の動向』（編著、東信堂）等がある。日本学術会議特任連携会員、同大学教育の分野別質保証委員会委員、中央教育審議会専門委員（大学分科会）等を歴任。



<問合せ先>

愛知大学 名古屋学習・教育支援センター
TEL : 052-564-6150 (内線20230)